



東京警察病院
Tokyo Metropolitan
Police Hospital

診療のご案内

脳神経外科

紹介状をお持ちの方は診療予約ができます。

東京警察病院 医療連携室 (月～土 8:15～17:00)

TEL 03-5343-5760/5762 (ダイヤルイン)

FAX 03-5343-5761 (医療連携室専用)

東京警察病院脳神経外科は1968年に開設されました。医療法で脳神経外科が診療科として認められたのは1965年のため、当科は「日本における脳神経外科」の発展と共に歴史を刻んでまいりました。2008年には中野に移転し、現在は地域の中核病院としての責務を果たすべく、日々の診療に全力であっております。脳神経外科の扱う疾患は時代の変遷とともに細分化し、2017年からは脳血管内治療科が設立され、現在脳神経外科ではカテーテル治療以外の全ての外科的治療を担当しております。本紙を通じて是非東京警察病院脳神経外科の取り組みをご覧いただくと幸いです。

吉野 正紀(よしの まさのり)

プロフィール

2001年 新潟大学医学部卒業

2001年 東大脳神経外科入局

NTT関東病院、多摩総合医療センター、東大大学院、

米国ピッツバーグ大学脳神経外科 虎の門病院脳神経外科

医学博士(東大)

日本脳神経外科専門認定医・指導医

日本脳卒中学会認定専門医

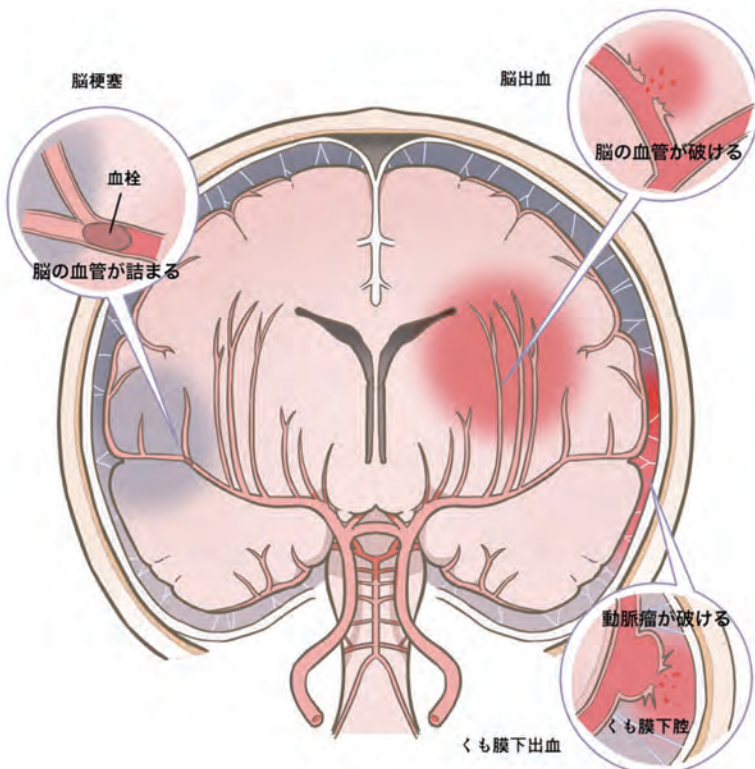
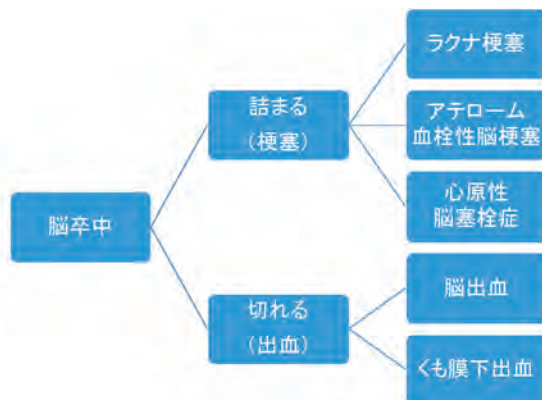
日本脳卒中の外科学会技術指導医



特徴1: 地域に根ざした脳卒中診療

脳卒中には血管が詰まる脳梗塞と、血管が切れる脳出血とがありますが(図1)、いずれの病型も早期発見・早期治療が重要です。東京警察病院では2007年より脳卒中センターを開設し、現在脳神経外科と脳血管内治療科とが協力して24時間365日脳卒中に対する内科的治療・外科的治療・血管内治療が行える体制になっております。また2017年には中野・杉並地区で初めての脳卒中集中治療室(SCU)を開設いたしました。SCUでは専従のスタッフが持続したモニター監視下で、濃厚な治療と早期からのリハビリテーションを行うことが可能となっております。脳卒中のガイドラインでも、脳卒中罹患後の日常生活動作や生活の質を改善するためにはSCUでの治療が推奨されています。当院の脳卒中センターには脳神経外科学会専門医・指導医3名、脳卒中学会専門医・指導医2名、脳卒中の外科学会技術指導医1名、脳血管内治療学会専門医・指導医2名を擁しており、大学病院に匹敵する高いレベルでの脳卒中医療の提供が可能となっております。また脳卒中の急性期治療のみならず、脳卒中発症予防にも力を入れておりますので、未破裂脳動脈瘤や頸動脈狭窄等を指摘され不安に思われている方はいつでも外来にご相談にいらしてください。

図1





特徴2：大学病院に勝るとも劣らない診療体制

東京警察病院脳神経外科は、中野移転時より良性脳腫瘍のメッカとして良性脳腫瘍の外科的治療を積極的に行なって参りました。多数の手術を行うことで、術中モニタリングをはじめとした手術を安全に行うシステムが構築されており、また近年では手術の安全性をさらに向上させる目的で、術前に撮像したCTやMRIから脳の3次元画像を作成して手術のシミュレーションに応用することが試み始められています(図2、3)。正常の脳の構造は、個人差はありますが大まかには同じです。しかし、病気がある場合の脳は一つとして同じではないため、手術を安全に行うためには個々の脳構造の違いを正確に把握した上で手術戦略を練ることが非常に重要です。これまでこのような3次元画像を用いた術前シミュレーションは一部の大学病院でしか行うことができませんでしたが、部長はこれらの3次元画像を用いた手術シミュレーションに精通しておりますので、現在東京警察病院でも大学病院に匹敵するレベルでの3次元画像の作成が可能となっております。具体的にはこれらは脳動脈瘤、脳動静脈奇形などの脳血管障害から、脳腫瘍、また顔面けいれん(顔がピクピク)、三叉神経痛(顔面が痛い)といった疾患まで幅広く活用し、手術の安全性向上に努めています。

図3

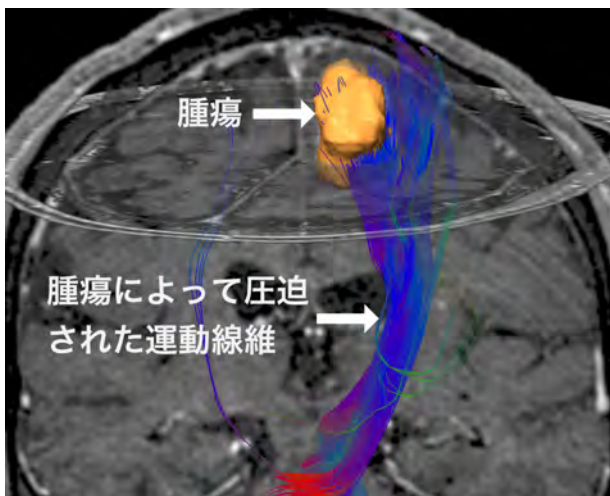


図3のように腫瘍によって圧排された運動線維を表示することも可能です。このように運動線維の走行をあらかじめ把握することで、運動線維損傷による手足の麻痺が出現しないように手術を行います。

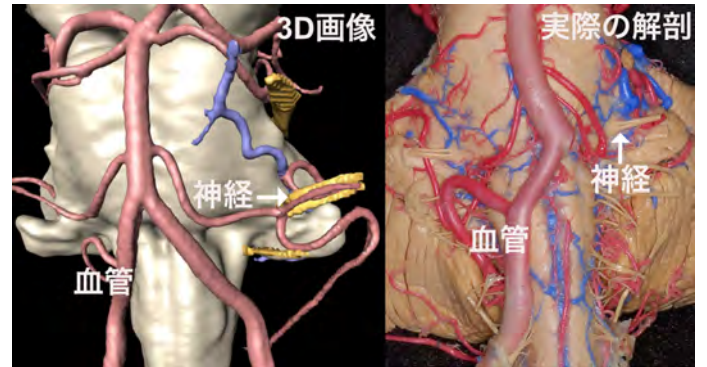
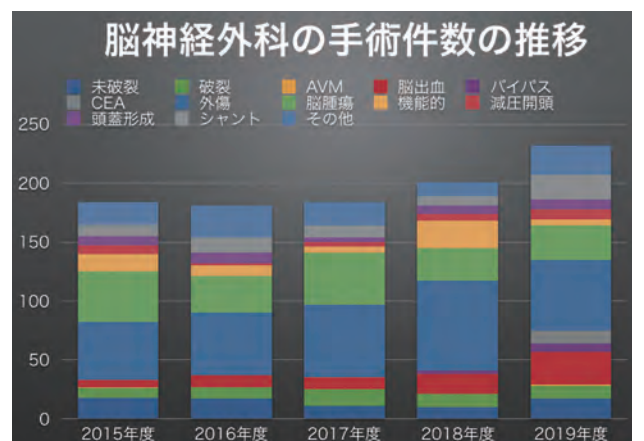


図2 図2の左の図はMRIから作成した3次元画像です。右図は実際の解剖の写真であり、作成した3次元画像は実際の解剖とほぼ同じであることがわかります。このような正確な3次元画像を用いて術前戦略を練ることで手術の安全性向上に努めています。

当科が得意とする疾患

当科では脳卒中、脳腫瘍、顔面けいれん、三叉神経痛、正常圧水頭症などの外科治療を積極的に行なっております。昨年度は脳神経外科の部長が私に交代した初年度ではありますが、多くの手術治療を行わせていただくことができました(図4)。私達脳神経外科医は外科医である以上、高度な外科技術は必須と考え日々研鑽を積んでおりますが、同時に外科技術は治療手段の一つであることも忘れず、謙虚な気持ちで患者さんにとって最良の治療方法を提供できるよう努力しております。もしも脳の病気を指摘され不安に思われている方は、いつでも外来にご相談にいらしてください。

図4



部長交替後1年

182件 182件 189件 201件 232件